

平成 28 年度 第 1 回 千葉県ダブルダッチ協会 会議 議事録

開催日：平成 28 年 7 月 3 日
会場：翔洋学園高等学校千葉学習センター

参加者 17 名

金子（茨城県ダブルダッチ協会）
ジョー（ReiB）
さなか（AX）
みさき（AX）
西川（関東第一高校）
ノッチ（関東第一高校コーチ／RoCo／埼玉県ダブルダッチ協会）
高（柏なわとびクラブ）
みわ（Steel）
江尻（Steel）
ゆりあ（おしゃらぐ Vibes）
シュウ（STEP UP）
及川（ZERO-ONE）
TAKU（超三流）
sho-ichi（超三流）
TAKA（AT-OUT）
あかね（おしゃらぐ Vibes）
としたか（おしゃらぐ Vibes）

以上
※通称表記・敬称略

【議題】

< 報告事項 >

- ・ 昨年度の活動報告（代表者会議での報告内容踏まえ）
 - groovy での CHIBADEMO 披露
 - 第 5 回チャレンジダブルダッチ in ちば
 - H27→H28 ジェフ市原・千葉コラボ
- ・ 代表者会議参加報告
 - CDDA の事業計画について
 - 各県協会・学連・JDDA の報告概要について
 - JDDA からの要請について
 - 各県協会の活動安定を目指した各都道府県での Let's Play Double Dutch の開催

< 協議事項 >

- ・ 千葉における Let's Play Double Dutch の望ましいあり方について

< その他 >

- ・ 宣伝等 →合弁会社 RoCo 設立の案内／埼玉県ダブルダッチ協会設立の案内

協議事項：【千葉における Let's Play Double Dutch の望ましいあり方について】

○進め方：以下の3つのテーマについて4グループに分かれて10分間のディスカッションを実施した。

- テーマ1：既存のレッツプレイダブルダッチの現状はどうか
- テーマ2：千葉のシーンに不足していることは？
- テーマ3：千葉で Let's Play Double Dutch を行うとして、どんな現実解があるか

○ディスカッション実施結果

テーマ1：既存のレッツプレイダブルダッチ(東京)の現状はどうか

- ・関東の学生同士でコミュニケーションをとる機会になっている
- ・講師は必ず時間を守っているというわけではない。
また、積極的に教えに行く姿も少ない(教えてくれる人もいるが俗人的になっている)→昔はそうではなかった
- ・神奈川ではターゲットを完全に子供に絞って普及に主眼をおいている。
→地元ショッピングモールとコラボして、参加者に観覧車乗車券を無料配布
- ・キッズの参加者はスキル差を考慮せず、キッズというジャンルに一括りにされている。
- ・プレイヤー向きのイベントであり、初めての人や社会人にとっては参加しづらいイベントになってきた。
- ・そもそもイベントの趣旨が定まっていない。

テーマ2：千葉のシーンに不足していることは？

- ・デモ以外でのイベント(Ex: 1 on 1、DDSのようなイベント)
- ・県内プレイヤーでの合同合宿/合同練習会
- ・イベントが開催される場合、駅から遠いことが多い
- ・人材は揃っている(イベント企画者、プレイヤー、スタッフ)からこそ、他県との連携をとるべき
- ・普及が届いていないエリア(Ex: 房総半島、銚子方面等)が広い
- ・groovy以外にもイベントが欲しい

テーマ3：千葉で Let's Play Double Dutch を行うとして、どんな現実解があるか

- ・Let's Play Double Dutch と目的が合致しているチャレンジダブルダッチ in ちばのサブタイトルとして Let's Play Double Dutch を使う
- ・新たに合同練習会(1~2回/年)を実施し、それを千葉の Let's Play Double Dutch と命名する。
- ・試験的に場所(千葉、松戸、柏...)や目的(普及/技術向上/プレイヤー間交流)の異なる様々なタイプの Let's Play Double Dutch (4回/年)を実施する
- ・県内未普及エリアに出向き、公園や路上などで道行く人にダブルダッチを体験してもらおうという企画を実施し、ひとつのエンターテインメントとして動画コンテンツ化する。(その番組が Let's Play Double Dutch)
- ・CDDA がコーディネートする体験会の名称を Let's Play Double Dutch とし、イベント主催者等をメインターゲットにして、地域から Let's Play Double Dutch の開催依頼を受託することで実施する。

ディスカッションを受けた今後の方向性について

- ・今後試験的に場所(千葉、松戸、柏...)や目的(普及/技術向上/プレイヤー間交流)の異なる様々なタイプの Let's Play Double Dutch を実施することを念頭に、まずは協会理事、協力者間で検討を進め、千葉で行う Let's Play Double Dutch の目的を定め、それを満たす枠組みを考案する
- ・その中で、まずは希望の多かった合同練習会としての Let's Play Double Dutch の実施を検討する。
- ・また、CDDA がコーディネートする体験会を Let's Play Double Dutch として受託、実施できるよう、ホームページ上にイベント主催者等を対象とした新しいWEBページを設け、地域の中に Let's Play Double Dutch の開催機会を作る準備を並行して進める。

以上